

マレーシアにおける既発見未開発ガス田の権益取得および開発計画の承認について

～ 同国における天然ガス供給体制を拡充 ～

各位

JX石油開発株式会社

当社(社長:三宅 俊作)のプロジェクト会社であるJXマレーシア石油開発株式会社(社長:和佐田 演愼(ひろのり)。以下「JXマレーシア」といいます。)は、今般、マレーシア国営石油会社ペトロナスから、既発見未開発ガス田であるベリルガス田の権益を付与されるとともに、同ガス田の開発計画が承認されましたので、お知らせいたします。

ベリルガス田は、JXマレーシアが75%の権益を保有し、オペレーターとして生産・操業中のマレーシア・サラワク州沖SK10鉱区ヘランガス田の浅層に位置しており、ヘランガス田と同様にJXマレーシアがオペレーターとして開発・生産を行います。また、ヘランガス田の既存生産施設を活用するため、短期間かつ低コストでの開発が可能であり、生産開始は2018年11月を予定しております。

ベリルガス田のピーク生産量は、日量140百万立方フィート、原油換算で日量約23,000バレルであり、生産された天然ガスは、ヘランガス田およびラヤン油ガス田から生産された天然ガスとともに、海底パイプラインにより、JXTGエネルギー株式会社が出資するマレーシアLNGティガ社の液化プラント(サラワク州ピンツル)に輸送され、液化後、LNGとして日本国内の需要家などに販売されます。

当社は、先般発表した中期経営計画の中で、選択と集中のため、東南アジアをはじめとした当社の強みを発揮できる地域に優先的に投資することとしておりますが、今後ともマレーシアにおいて、オペレーターとして石油・天然ガス開発事業に取り組むことで、同国との長期的・良好な信頼関係を維持・拡大し、収益力の強化を図ってまいります。

以上

SK10鉱区およびJXマレーシア石油開発株式会社の概要

1. マレーシアSK10鉱区の概要

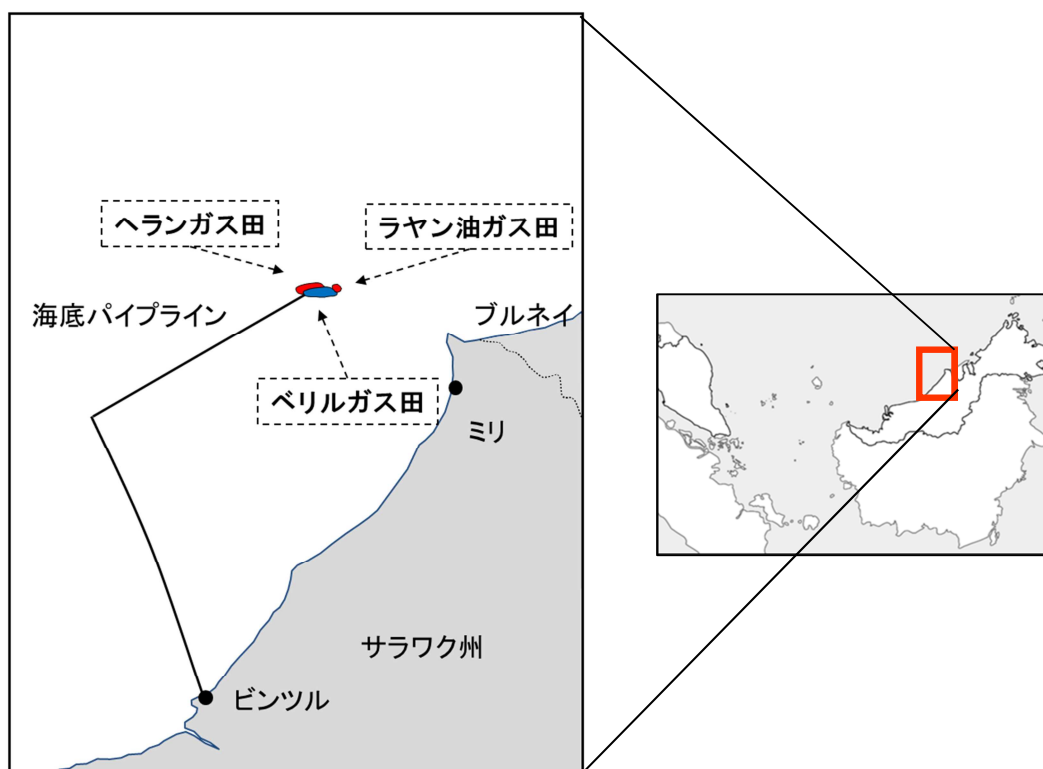
- (1) 鉱区取得日： 1987年11月16日
- (2) 権益比率： JXマレーシア石油開発株式会社（75%）、ペトロナスチャリガリ（25%）
- (3) 主な沿革：
 - 1987年 11月 マレーシア国営石油会社ペトロナスとの間で生産分与契(PSC)、ペトロナスチャリガリとの間で共同操業契約(JOA)を締結
 - 1990年 11月 ヘランガス田発見
 - 1991年 5月 ラヤン油ガス田発見
 - 2003年 11月 ヘランガス田商業生産開始
 - 2014年 3月 ラヤン油ガス田開発計画のペトロナス承認取得
 - 2017年 5月 ラヤン油ガス田商業生産開始
 - 2017年 10月 ベリルガス田開発計画のペトロナス承認取得

2. JXマレーシア石油開発株式会社について

- ① 名 称： JXマレーシア石油開発株式会社
(英文名) JX Nippon Oil & Gas Exploration (Malaysia) Limited
- ② 設 立： 1987年10月14日
- ③ 所 在 地： (本社)東京都千代田区大手町一丁目1番2号
- ④ 代 表 者： 代表取締役社長 和佐田^{ひろのり} 演慎 (JX石油開発株式会社 取締役常務執行役員 第1事業本部長)
- ⑤ 資 本 金： 131億円 (2017年11月末現在)
- ⑥ 株 主： JX石油開発株式会社 (78.7%)、国際石油開発帝石株式会社 (15.0%)、三菱商事株式会社 (6.3%)
- ⑦ 事業内容： マレーシアおよびその周辺地域における石油、天然ガスその他の鉱物資源の探鉱、開発、採取、加工、貯蔵および売買ならびに付帯する事業

以 上

<ベリルガス田、ヘランガス田、ラヤン油ガス田の位置図>



以上